

# Leaf Concert

リーフコンサート

～美しい音楽をもっと子供たちに…～



2015年 7月12日 (日)

三島市民文化会館 小ホール

開場 13:30 開演 14:00



## ごあいさつ

本日はお忙しい中、第1回『Leaf Concert』にお出かけくださいますようお願いいたします。

「美しい音楽をもっと子供たちに聴いて欲しい。」という願いを込めて、三島近隣のピアノ教師が創って参りました『三島ピアノ音楽研究会』が、惜しまれつつ幕を降ろして昨年で、早くも10年の月日が経ちました。

ファミリーピアノコンサート、アップルピアノコンサートと、20年以上に渡り愛されて参りました音楽会。ようやく復活の準備が整いました。

名称を新たに、『ピアノ音楽研究会』～Leaf Concert～として、楽しい音楽の世界を、子供とお母様そして広く皆様にお届けして行きたいと思っております。上記の音楽会同様に末永く愛して頂けましたら幸いです。

今回は、二つの物語。ピアノ以外の二つの音（ナレーションの声・サクソフォンの音）とのアンサンブルも交えまして、古いヨーロッパの作曲家から現代の作曲家、日本の作曲家まで幅広く、かつ馴染み易い名曲を並べてお届けいたします。

美しい音楽の花が咲きますよう、音楽の花束から子供達の心に美しい花が咲きますよう、そして、大人になった時、どんな花になるのかな？と、わくわくしつつ、ネーミング致しました若葉の音楽会です。

音楽という芸術によって、三島の街がますます美しい人々で賑わう街になります事を、10年前と変わらぬ想いで願いつつ、ピアノ音楽研究会主催Leaf Concert、幕を上げさせていただきます。最後まで、ごゆっくりお楽しみください。

2015年7月12日

ピアノ音楽研究会

会員一同

# Program プログラム

柏木 恵美子 (Pf)	《大きな古時計》によるバラード メヌエット ト長調 エチュード・アレグロ	後藤 丹 バッハ 中田 喜直
大江 智子 (Pf)	クライスレリアーナ 1番 トロイメライ クライスレリアーナ 7番、8番	シューマン
池谷 奈緒美 (Pf I)	《くるみ割り人形》より	チャイコフスキー
杉山 亜由美 (Pf II)	こんぺいとうの踊り トレパーク あし笛の踊り 花のワルツ	
休憩		
田口 真之 (Sax)	ファンタジア 第1楽章	ヴィラ=ロボス
田京 まゆみ (Pf)	バイ・シュトラウス	ガーシュウィン
山本 まどか (Pf)	《ピーターと狼》 Op.67 (ナレーター付き)	プロコフィエフ トーマス・F・ダンヒル編曲
山形 真由美 (Pf)	《ベルガマスク組曲》より 月の光	ドビュッシー
竹中 紀江 (Pf)	プレリュード Op.3-2 『鐘』 10のプレリュードより Op.23-3	ラフマニノフ
大久保 沙織 (Pf)	エチュード Op.10-12 『革命』 エチュード Op.25-1 『エオリアンハーブ』 華麗なる大円舞曲	ショパン

# Profile

プロフィール



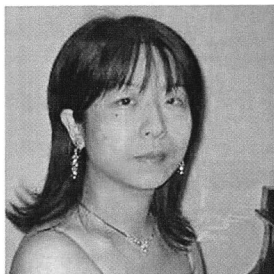
## 柏木 恵美子 *Emiko KASHIWAGI*

桐朋学園大学卒業。

下田弘子、故森安芳樹、岡本美智子の各氏に師事。

ピアノデュオを白石隆生、楊麗貞の各氏に、室内楽を藤井一興、故安原正幸、久保良治の各氏に師事。

静岡県演奏会協会会員。かやはら音楽教室、やまがた音楽教室講師。三島市在住。



## 大江 智子 *Tomoko OE*

国立音楽大学卒業。望月植未、駒沢とみ子、鶴養英子、土屋美寧子の各氏に師事。

PTC 賞受賞、八ヶ岳サマーコース参加、県東部新人演奏会、三島市、沼津市芸術祭、アラムジカコンサート、妹(ヴァイオリン)との演奏会等に出演。器楽、声楽等の伴奏は多い。三島ピアノ研究会会員、やまがた音楽教室講師。

駿東郡長泉町在住。



## 池谷 奈緒美 *Naomi IKEYA*

武蔵野音楽大学卒業。杉山眞理、中村有紀子、三浦さえ子、東海昌子の各氏に師事。

ウィーン国立アカデミーサマースクールに参加し、選抜コンサートに出演。武蔵野音楽大学静岡県東部地区新人演奏会、スタインウェイを弾こう、連弾と2台ピアノによるコンサート Four Blumen Cocert など、その他数多くの演奏会に出演。こどものためのピアノコンサートにおいて初のソロリサイタルを開催。ソロピアノニスト、伴奏ピアノニスト、ピアノ講師。タンザワ楽器店講師。駿東郡小山町在住。

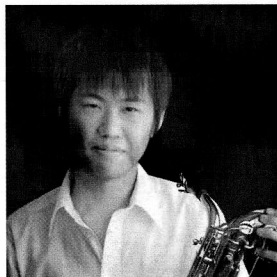


## 杉山 亜由美 *Ayumi SUGIYAMA*

武蔵野音楽大学卒業。武藤珠美、小川知子、安孫子和子の各氏に師事。

Dolce Musica コンサート、武蔵野音楽大学静岡県東部地区新人演奏会、静岡県東部地区新人演奏会、連弾と2台ピアノによるコンサート Four Blumen Concert に出演。ヤマハ音楽教室システム講師、やまがた楽器店講師。裾野市在住。





## 田口 真之 *Masayuki TAGUCHI*

武蔵野音楽大学卒業。栃尾克樹氏に師事。

現在、フリーの奏者としてソロ、室内楽などで活動。

また静岡県東部を中心に、吹奏楽部のサクスパートトレーナー、音楽教室講師など、後進の指導にあたっている。沼津市在住。



## 田京 まゆみ *Mayumi TAKYO*

国立音楽大学卒業。米田和子、館田素子、野本弘子、木暮淳子、小林仁、池沢幹男、武沢洋の各氏に師事。

ファミリーコンサート、アップルコンサート、三島市芸術祭、沼津市芸術祭、ピアノ音楽祭に出演。N響メンバーとピアノ五重奏共演。兄妹でジョイントコンサートをする。SeaPaPa コンサート、ベートーヴェンピアノ・ソナタ全曲演奏会に参加。ホームコンサート、コンクール等の伴奏もする。沼津市芸術祭実行委員。中部音楽芸術院講師。伊豆市在住。



## 山本 まどか *Madoka YAMAMOTO*

東京音楽大学卒業。菊地麗子氏に師事。

三島姉妹都市交流コンサート、クロアチアとの国際交流コンサート、沼津ピアノ音楽祭、三島・沼津市民芸術祭、アップルピアノコンサート、アラムジカコンサート等に出演。東京・三島・富士にてジョイントリサイタル開催。ミルキーウェイ木管合奏団、三島グロリア合唱団ピアニスト。やまがた音楽教室講師。

富士市在住。



## 山形 真由美 *Mayumi YAMAGATA*

武蔵野音楽大学卒業。

柏木真理子、小澤一、小暮淳子、黒川浩、牧野纈、平野邦夫の各氏に師事。

ソロ・アンサンブル・コンチェルト等多数出演。現在、ピアノ音楽研究会・アンサンブルコンサート実行委員会事務局長、ロビーコンサート実行委員会副会長、三島市文化振興基本計画策定部会委員等の活動を通じ、地域の音楽普及と音楽文化芸術の発展・後進の育成に励む。やまがた音楽教室講師。三島市在住。



## 竹中 紀江 *Norie TAKENAKA*

武蔵野音楽大学卒業。同大学大学院修了。

ピアノを故相良優子、野口公子、A. v. アルニム、B. シキ、P. シグマノフスキー、F. ウィボウの各氏に師事。リート伴奏法を子安ゆかり氏に師事。

アクシスのタベ、静岡県演奏家協会定期演奏会、アラムジカコンサート、MOA 美術館ロビーコンサート等多数出演。MOA 美術館スマイル児童合唱団伴奏ピアニスト、沼津情報・ビジネス専門学校こども保育科講師。沼津市在住。



## 大久保 沙織 *Saori OKUBO*

東京音楽大学卒業。同大学院科目等履修 I (音楽家養成コース) 終了。現在、同大学院鍵盤楽器研究領域修士課程 1 年生。山形真由美、中村史子、芹澤佳司、広瀬宜行、菊地麗子の各氏に師事。静岡県学生音楽コンクール高校生の部第 3 位。ロゼピアノコンクール一般の部 A 第 2 位。他にも、数々のファイナルに入賞。ポーランド国立放送交響楽団、新日本フィルハーモニーとピアノトリオ、クラクフ管弦楽団、静岡交響楽団とピアノコンチェルトを共演。自宅にて教室開講予定。三島市在住。





# PROGRAM NOTE

～曲目解説～

## ■ 後藤 丹(1953～)

### 《大きな古時計》によるパレード

《大きな古時計》はアメリカの作曲家ヘンリー・クレイ・ワークが作詞作曲して 1876 年に発表した歌です。このピアノのためのバラードは、歌詞に沿って、主人公の人生の情景を回想するように描いた作品です。

## ■ Johann Sebastian Bach(1685～1750)

### メヌエット ト長調

バッハが妻に贈った『アンナ・マグダレーナのための小曲集』の中の一曲です。長い間、バッハ作曲として親しまれてきましたが、実はクリスティアン・ペッツェルトが作曲したメヌエットです。この曲を四拍子にアレンジしたのが、中学校でもおなじみのラヴァーズコンチェルトです。

## ■ 中田喜直(1923～2000)

### エチュード・アレグロ

発表会の定番曲です。華やかで、グリッサンドが出てきて、この曲をもらったとき、ワクワクしたことを今でも思い出します。

## ■ Robert Alexander Schumann(1810～1856)

### クライスレリアーナ 1 番、7 番、8 番

「クライスレリアーナ」とは、ホフマンの小説に登場する「楽長クライスラー」から取ったタイトルです。シューマンは、かなわぬ恋を描いたこの小説に自分とクララとの恋愛を重ねていました。この作品が生まれたのは、クララとの結婚に反対され苦しんでいた時期です。音楽の創作が唯一の救いとなり、ピアノ作品の傑作が多く生まれたのもこの頃でした。クライスレリアーナは、シューマンのピアノ語法がふんだんに使用されていて、曲は、急緩急緩…と配置されています。情熱的ですが、決して感傷的ではなく、文学的な詩情がダイナミックに音に表現されています。

### トロイメライ

トロイメライ(Träumerei)は 1838 年に作曲された、ファンタジー溢れるピアノ曲集「子供の情景」Op. 15 の第 7 曲で、タイトルは「夢」という意味です。シューマンのピアノ曲の中で最も有名で、単独で演奏されることも多い曲です。

(クライスレリアーナの中から選んだ曲が速い曲だった為、ゆったりしたトロイメライを挿入しました。)



■ Pyotr Ilyich Tchaikovsky (1840~1893)

**くるみ割り人形**

くるみ割り人形はチャイコフスキーが作曲したバレエ音楽です。

**こんぺいとうの踊り**

お菓子の国でのパーティーが行われ、こんぺい糖の精が踊る曲です。  
冬やクリスマスシーズンによく聞かれます。

**トレパーク**

速いテンポの曲で、力強い特徴のあるリズムの旋律が出てきます。  
チョコレートの精がロシアのコサック農民の踊りであるトレパークを踊る場面です。

**あし笛の踊り**

アーモンド菓子の羊飼いが、ミルリトンというおもちゃの笛を吹いて踊る曲です。  
最近では、ソフトパンクのCMでも流れています。

**花のワルツ**

豪華で華やかなワルツです。パーティーも終わりに近づき、お菓子の精やおもちゃ、飾られた花たち、みんなが舞台いっぱいに踊ります。

■ Heitor Villa-Lobos (1887~1959)

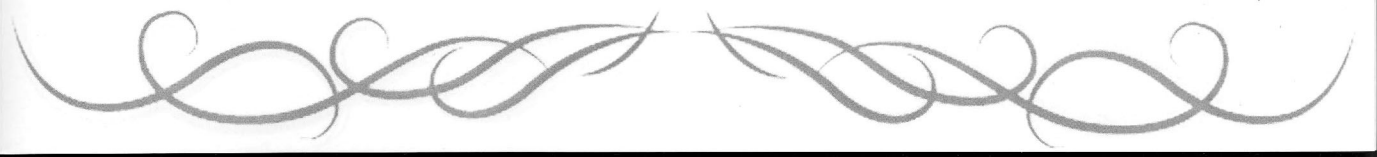
**ファンタジア 第1楽章**

ヴィラ＝ロボスは多くのギター作品などを通して広く知られるブラジルを代表する作曲家です。ファンタジアはフランス近代の影響を受けながらも、母国の音楽の躍動感や魅力的な要素を持つ作品です。

■ George Gershwin (1898~1937)

**バイ・シュトラウス**

アメリカの作曲家、ガーシュウィンがミュージカルのために作曲したヨハン・シュトラウスを讃えるワルツです。







■ Sergei Sergeevich Prokofiev (1891~1953)

ピーターと狼 Op. 67

ナレーターと小編成のオーケストラのために書かれており、台本はロシア民話を基にプロコフィエフ自身が書いた子供のための音楽作品です。物語の登場人物(動物)は小鳥がフルート、アヒルはオーボエ、狼はホルンというようにオーケストラの特定の楽器によって受け持たれ、オーケストラの楽器紹介の趣もあります。また、それぞれには固有の主題が割り当てられています。本日はトーマス・F・ダンヒル編曲によるピアノ独奏版でおおくりします。

～物語～

いつも元気な少年ピーターは森の牧場に建つ、お祖父さんの家に住んでいます。今日も友達の小鳥やアヒル、猫といっしょに牧場で遊んでいました。そこへお祖父さんが怒ってやってきました。「森から狼が出できたらどうするんだ！」けれども狼なんかちっとも怖くないピーターはお祖父さんの言うことなど少しも聞こうとしません。それでもお祖父さんはピーターを家に連れ戻し戸を閉めてしまいました。すると森から…

■ Claude Achille Debussy (1862~1918)

月の光

ドビュッシーは、ナポレオン3世の帝政時代…日本の歴史で言うと、明治の頃に活躍したフランスの作曲家です。『月の光』はそのまま、透明な月の光をイメージして聴いてください。光とたゆたう時間…輪郭が曖昧となつてうっとりするような、そんな芸術を愛した印象派の時代の音楽です。絵画では、マネ、モネ、ルノワールなどがこの時代の人です。

■ Sergei Vasil'evich Rachmaninov (1873~1943)

プレリュード Op. 3-2 『鐘』

ラフマニノフは、ピアニスト活動が中心であつただけに、ピアノ曲の名曲を多く残しています。彼の音楽を特色づけているものは、豊かな旋律性と哀愁を感じさせる抒情性であり、それを響き豊かな和声で盛り上げているのです。

Op. 3-2 『鐘』は浅田真央さんがバンクーバー五輪で演技された名曲です。「鐘」というタイトルは、この曲がモスクワのクレムリン宮殿の鐘の音に暗示されて作曲された、ということから付けられたニックネームです。大小の鐘が交差して響く雰囲気があります。

10のプレリュードより Op. 23-3

4分の3拍子、軽快でしゃれた感じの曲です。





■ Fryderyk Franciszek Chopin(1810~1849)

エチュード Op. 10-12 『革命』

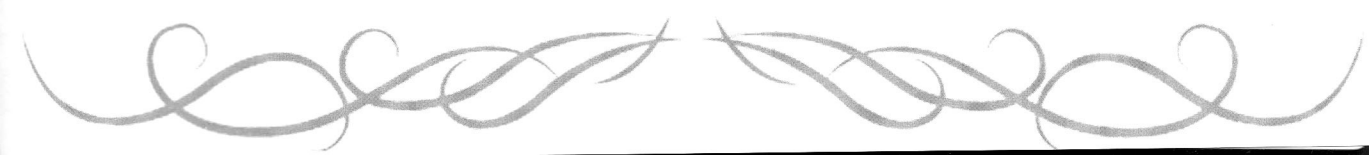
この曲は、彼が演奏旅行でポーランドを離れていた際、革命が失敗し、故郷のワルシャワが陥落したとの報をきいて作曲したものとわれています。この時期のショパンの精神状態が普通ではなかったことは彼の日記からもうかがえます。

エチュード Op. 25-1 『エオリアンハーブ』

流れるような美しい分散和音が特徴で、後にドイツの作曲家ロベルト・シューマンがこの題名を名付けたとされる曲です。

華麗なる大円舞曲

ショパンがウィーン滞在時に作曲した曲です。ウィーンで成功するためにはワルツが必要だと考えていたため、シュトラウスの影響が濃厚で、ショパンのワルツの中で最もウィーンっぽさを感じさせる曲になっています。





主催 ピアノ音楽研究会

後援 三島市  
三島市教育委員会